

# Contents

■ 序 章	1
0-1. コープランド、その今日的な受容像	1
0-2. 研究の背景	5
0-3. 研究の目的	5
0-4. 研究の手法	7
0-4-1 批評理論における〈テキスト〉の解釈をめぐる問題	7
0-4-2 「政治的無意識」：フレドリック・ジェイムソンの批評理論	9
0-4-3 フレドリック・ジェイムソンの〈全体性〉	13
0-4-4 ジェイムソンを援用する根拠	16
0-4-5 「複数のテキスト」の中における音楽の意味作用：ニコラス・クック	16
0-4-6 作曲家による表現として映画音楽の分析を行うための前提	17
0-5. 研究の意義	19
0-6. コープランド研究の事例数、状況	21
0-7. 主要な語の定義	22
0-7-1 「現代アメリカ」	22
0-7-2 「革新」と「保守」	23
0-8. 本論の構成	27
■ 第1章 コープランドを「歴史化」する	29
1-1. コープランドの美学的立脚点	29
1-1-1 20世紀の新大陸の作曲家として	29
1-1-2 自律美学、または西欧近代主義への省察の必要性について	32
1-1-3 自律美学的視座によるコープランド批評の例	33
1-1-4 自律美学的視座によるコープランド批評に対する批判的検討	34
1-2. コープランドと〈マッカーシズム〉	36
1-2-1 政治的作用による文化的歴史叙述への影響	36
1-2-2 〈修正主義〉：冷戦、抽象表現主義絵画、MoMA、CIA、文化自由会議	36
1-2-3 国吉康雄：バリ発ニューヨーク着という近代美術史パラダイムの他者	38
1-2-4 1930年代のリアリズムと政治的左派、冷戦期の抑圧	39
1-2-5 アイゼンハワー大統領就任記念演奏会（1950）におけるコープランド作品の削除	40
1-2-6 〈ウォルドーフ会議〉（1949）への参加 ：「共産主義者たちの前衛を緩なす間抜けどもとその同調者たち」	41
1-2-7 〈赤刈り〉：1953年5月26日午後2時30分、上院ビル357号室、ワシントンD.C.	43
1-2-8 その後のコープランドにおける〈マッカーシズム〉の影響	44
1-3. われわれに求められる視座	46

■ 第 2 章 先行研究の検討、論点の抽出 ..... 48

2-1. 先行研究例：「コーブランド」と「その作品」 ..... 48

- 2-1-1. コーブランド：先行研究におけるその政治意識の受容の変遷 ..... 48
- 2-1-2. 政治意識へのまなざし 1：ペルリス、ボラック ..... 49
- 2-1-3. 政治意識へのまなざし 2：クライストと〈革新主義〉 ..... 51
- 2-1-4. 作品について：その多様性を指摘するもの ..... 52
- 2-1-5. 作品について：中心的な書法の指摘への試み 1（ラーナー2001の分析） ..... 54
- 2-1-6. 作品について：中心的な書法の指摘への試み 2（クライスト2003の分析） ..... 55
- 2-1-7. 作品について：中心的な書法の指摘への試み 3（マーチソン2013の分析） ..... 57

2-2. 先行研究の批判的検討 ..... 58

- 2-2-1. 批判的検討から論点抽出へ ..... 58
- 2-2-2. ハリウッド映画の音楽研究に関するレビュー ..... 61

2-3. 議論すべき 3 つの論点 ..... 63

■ 第 3 章「現代アメリカ」の形成における〈革新主義〉の位置づけ ..... 65

3-1. 20 世紀初頭の合衆国における社会問題 ..... 65

- 3-1-1. 社会問題の前提となるもの：「19 世紀アメリカニズム」 ..... 65
- 3-1-2. 経済的〈自由放任主義〉と〈新移民〉：19 世紀末の急激な工業化と都市化 ..... 67

3-2. 社会秩序の形成：20 世紀転換期の〈革新主義〉 ..... 69

- 3-2-1. ハーバート・クローリー：「国家主義的な革新主義」 ..... 71
- 3-2-2. ジェーン・アダムズ：「コミュニティ派の革新主義」 ..... 73

3-3. アメリカ史学における〈革新主義〉の受容 ..... 76

- 3-3-1. 「保守」と「革新」の視座からの史学研究群 ..... 76
- 3-3-2. 「アメリカの世紀」との関連からの研究、オリヴィエ・ザンズ ..... 79
- 3-3-3. ザンズ『アメリカの世紀』：「研究促進体制」 ..... 79
- 3-3-4. ザンズ『アメリカの世紀』：「消費の民主化」1、「平均的アメリカ人」 ..... 83
- 3-3-5. ザンズ『アメリカの世紀』：「消費の民主化」2、「消費者の創出」 ..... 85

3-4. 〈革新主義〉：その史的 position と意義 ..... 88

- 3-4-1. 「現代アメリカ」形成における〈革新主義〉の位置づけ ..... 88
- 3-4-2. “via media”：「中間の道」としての〈革新主義〉 ..... 91

■ 第 4 章	スティーグリッツ・サークルにて.....	95
4-1.	『ダイアル』誌と音楽批評家ポール・ローゼンフェルド.....	97
4-2.	「スティーグリッツ・サークル」.....	102
4-2-1.	「スティーグリッツ・サークル」の人々.....	102
4-2-2.	「スティーグリッツ・サークル」の音楽家として.....	104
■ 第 5 章	「共同体の音楽」をもとめて ： 1920 年代後半以降にみるコープランドの模索.....	107
5-1.	時代背景：1920 年代後半から 1930 年代のアメリカ.....	107
5-2.	1920 年代後半以降にみるコープランドの模索.....	111
5-2-1.	「ジャズ」とアメリカらしさの表象をめぐって.....	111
5-2-2.	「共同体の音楽」へ：1927 年バーデン・バーデンのドイツ室内楽音楽祭.....	115
5-3.	コープランドにおける「共同体の音楽」と「民主主義」.....	119
5-3-1.	複製技術との関連から.....	119
5-3-2.	西欧近代主義的藝術概念について：「自律美学」をめぐって.....	120
5-3-3.	「政治の耽美主義」と「芸術の政治化」 ：ベンヤミンとブレヒトの左翼的藝術観.....	122
■ 第 6 章	「アメリカらしさ」の革新性.....	126
6-1.	「共同体の音楽」としての〈革命歌〉.....	126
6-1-1.	1930 年代のコミンテルンの動向.....	126
6-1-2.	左翼政治運動への接近.....	128
6-1-3.	共産党関連音楽組織への関与.....	129
6-1-4.	〈社会主義リアリズム〉と〈プロレタリアン・アヴァンギャルド〉な〈革命歌〉.....	132
6-1-5.	革命歌《5月1日だ、街に繰り出そう!》(1934).....	136
6-2.	民俗的音楽素材をめぐって.....	140
6-2-1.	コープランドの音楽理念における民俗音楽素材の位置づけ.....	140
6-2-2.	メキシコでの試行錯誤から.....	142
6-3.	アメリカらしさの誕生：モスクワ発の〈人民戦線〉をめぐって.....	147
6-3-1.	〈人民戦線〉戦術：1935 年、コミンテルン第 7 回大会〈ディミトロフ・デーゼ〉.....	147
6-3-2.	ワシントン発の〈ニューディール政策〉と、モスクワ発の〈人民戦線〉.....	149
6-3-3.	〈人民戦線〉にコープランドのアメリカらしさの直接的契機をみる根拠 1 ：〈ニューディール政策〉との関連の希薄さ.....	152
6-3-4.	〈人民戦線〉に、コープランドのアメリカらしさの直接的契機をみる根拠 2 ：親ソヴィエトの心情.....	154
6-3-5.	〈独ソ不可侵条約〉以後にも維持された親ソ連の心情：映画『北極星』、 〈アメリカソ連友好会議〉、副大統領 ヘンリー・ウォーレスへの共感.....	158

6-3-6.	〈人民戦線〉に、コーブランドのアメリカらしさの直接的契機をみる根拠 3 ：コーブランドの「アメリカ的表象」の誕生、《The Young Pioneers》(1935) ...	164
6-3-7.	エリート作曲家たちの葛藤と〈人民戦線〉 .....	170
6-3-8.	「アメリカらしさ」の革新性 .....	175
6-4.	コーブランドの政治思想：その位置づけ .....	176
6-4-1.	ヘンリー・ウォーレス：その民主主義とロシアに対する認識 .....	176
6-4-2.	コーブランドの政治思想：その位置づけ .....	184
■	第 7 章 「共同体の音楽」としての映画音楽 .....	188
7-1.	コーブランドにおける「共同体の音楽」の展開：1930 年代 .....	188
7-2.	機械の眼のリアリズム：音楽の新地平 .....	191
7-2-1.	アメリカの映画、映画のアメリカ .....	192
7-2-2.	〈古典的ハリウッド映画〉と音楽 .....	193
7-2-3.	「スティーグリッツ・サークル」と映画 .....	195
7-3.	「共同体の音楽」としての映画音楽 .....	200
7-3-1.	ハリウッドへの契約交渉、「ハリウッド規範」 .....	200
7-3-2.	コーブランドにおける「古典的映画音楽」批判の論点 .....	203
7-3-3.	コーブランドの「アメリカ」 .....	205
7-3-4.	「共同体の音楽」としての、ハリウッドでの映画音楽の可能性 .....	208
7-3-5.	「藝術の政治化」としての、ハリウッドでの映画音楽の可能性 .....	211
■	第 8 章 不協和音の由縁	
	：ドキュメンタリー映画『都市』（1939）の映画音楽について .....	216
8-1.	ドキュメンタリー映画『都市』：その製作の背景 .....	216
8-1-1.	映画音楽の分析の試み .....	216
8-1-2.	ニューディール期のアメリカ・ドキュメンタリー映画の隆盛 .....	219
8-1-3.	ドキュメンタリー映画の父、ペー・ロレンツ .....	220
8-1-4.	ドキュメンタリー映画『都市』の製作背景 .....	222
8-1-5.	都市計画者ルイス・マンフォードと〈革新主義〉の命脈 .....	223
8-2.	ドキュメンタリー映画『都市』：シノプシス .....	225
8-2-1.	分析に用いた資料 .....	225
8-2-2.	シノプシス .....	226
8-3.	「構造的因果律」にみちびかれた映像 .....	235
8-3-1.	思惑の交叉としての映像〈テキスト〉 .....	235
8-3-2.	都市計画事業と映画表現とのはざまの〈テキスト〉 .....	238
8-4.	ドキュメンタリー映画『都市』の映画音楽を「読む」 .....	241
8-4-1.	「アメリカらしさ」：映画『都市』にみる「パストラル語法」 .....	241
8-4-2.	映画内における「シーケンス B」の音楽の形式的異質性 .....	246
8-4-3.	映像内容との合致としての不協和音の可能性 .....	249

■ 第 9 章 「役に立つ過去」としての「パストラル語法」	
: 映画『廿日鼠と人間』(1939) の映画音楽について.....	257
9-1. 製作の背景、シノプシス.....	257
9-1-1. 製作の背景 .....	257
9-1-2. シノプシス .....	259
9-1-3. 分析に用いた資料.....	260
9-2. 「役に立つ過去」をつくりはじめた「パストラル語法」 .....	261
9-2-1. 「パストラル語法」の存在 .....	261
9-2-2. 「役に立つ過去」をつくりはじめた「パストラル語法」 .....	263
■ 終 章 .....	265
■ あとがき.....	268
■ 注 釈 .....	269
序 章 注釈 .....	269
第 1 章 注釈 コーブランドを「歴史化」する .....	275
第 2 章 注釈 先行研究の検討、論点の抽出 .....	281
第 3 章 注釈 「現代アメリカ」の形成における〈革新主義〉の位置づけ ....	287
第 4 章 注釈 スティーグリッツ・サークルにて .....	295
第 5 章 注釈 「共同体の音楽」をもとめて .....	301
第 6 章 注釈 「アメリカらしさ」の革新性 .....	305
第 7 章 注釈 「共同体の音楽」としての映画音楽 .....	316
第 8 章 注釈 不協和音の由縁 .....	319
第 9 章 注釈 「役に立つ過去」としての「パストラル語法」 .....	324
■ 参考文献.....	325
■ 附録資料 1 "A TRIBUTE TO AARON COPLAND (Senate)" .....	341
■ 附録資料 2 映画『都市』(The City, 1939) 楽譜草稿 (アメリカ議会図書館所蔵) ...	343
■ 附録資料 3 Narration for 《The City》 (1939) 石井拓洋訳.....	377